

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-49607

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/22	G
17/60			G 0 7 G 1/12	3 6 1 C
G 0 7 G 1/12	3 6 1		G 0 6 F 15/21	3 1 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平8-217897

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月31日

(71) 出願人 596122283

株式会社アーバン・アイ・システムズ  
東京都豊島区南大塚一丁目50-10 株式会  
社アーバン・アイ・システムズ内

(71) 出願人 391055449

日本ベンダーネット株式会社  
東京都千代田区飯田橋4丁目8番3号

(71) 出願人 000002037

新電元工業株式会社  
東京都千代田区大手町2丁目2番1号

(74) 代理人 弁理士 川井 治男

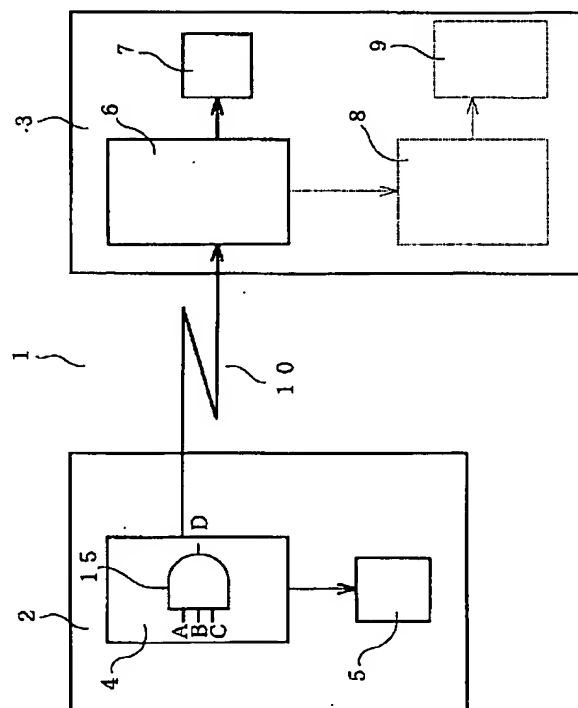
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 受発注管理システム

(57) 【要約】

【課題】 物品等の受発注行為及びその管理体系の簡素化と確実性を図ることを目的とする受発注管理システムを提供する。

【解決手段】 発注者側装置2は発注端末装置4を有し、これらが複数個存在し、それらから随時発信された注文信号を公衆回線等10を介して受注者側装置3の受注端末装置6で受信し、その内容をプリンタで印字出力する。また受注者側装置3では、受注端末装置6を介して処理装置8にその受信信号を受け入れて解析し、日本語プリンタ9で受注内容、請求書及び管理帳票を印字出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 発注端末装置と受注端末装置とを有する受発注管理システムであって、前記発注端末装置は商品の品名、数量、単位及び発注先等の情報を入力するタッチ式入力部と、前記入力した情報の少なくとも一部分を表示する表示部と、前記情報を記憶する記憶部と、前記情報を公衆回線を通して前記受注端末装置に送信する送信部とを有し、前記送信部は商品の品名、数量、単位を入力した場合にのみ入力された情報を送信可能とするAND回路を有することを特徴とする受発注管理システム。

【請求項2】 請求項1の受発注管理システムにおいて、前記発注端末装置のタッチ式入力部のタッチキーは切り換えることにより、文字入力モード用の文字入力キーと注文入力モード用の商品キーとして機能可能であり、前記文字入力モードにより商品名を追加し、または商品名を変更することができることを特徴とする受発注管理システム。

【請求項3】 請求項1の受発注管理システムにおいて、前記発注端末装置のタッチ式入力部のタッチキーは、前記発注端末装置の上部に位置すると共に前記タッチキーの上面にシートを取り外し可能に載置し、前記シートの上面から前記タッチキーに対するタッチ操作が可能であることを特徴とする受発注管理システム。

【請求項4】 請求項1の受発注管理システムにおいて、前記発注端末装置の上部に前記シートを位置決めする位置決め用の段差を設けてあることを特徴とする受発注管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、注文等を受けて常時または随時配達等により商品等の納品等を行う業態の受発注管理システムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】これらの業態においては、通常品切になった商品等、または品切になりそうな商品等を口答、電話またはファクシミリ等で注文し、配達納品等をする方法が採用されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかるにこの従来の方法によると、受発注時において言い間違い、聞き間違い若しくは書き間違い等が発生し、また注文時間の制約があると共に証票書類の不備によるトラブルの発生は否めない。尚、受注者側においては、納品書及び請求書の発行業務または売上げ管理等の管理業務は全て手作業を要するため、多大な労力を要することになる。

【0004】この発明は上記の如き事情に鑑みてなされたものであって、受発注行為を簡単にしかも確実に行うシステムを提供することを目的とするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】この目的に対応して、この発明の受発注管理システムは、発注端末装置と受注端末装置とを有する受発注管理システムであって、前記発注端末装置は商品の品名、数量、単位及び発注先等の情報を入力するタッチ式入力部と、前記入力した情報の少なくとも一部分を表示する表示部と、前記情報を記憶する記憶部と、前記情報を公衆電話回線を通して前記受注端末装置に送信する送信部とを有し、前記送信部は商品の品名、数量、単位を入力した場合にのみ入力された情報を送信可能とするAND回路を有することを特徴としている。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、この発明の詳細を一実施例を示す図面について説明する。図1において1は受発注管理システムである。受発注管理システム1は発注者側装置2及び受注者側装置3を備えている。発注者側装置2は、発注端末装置4を有し、必要に応じてジャーナルプリンタ5も取り付けられるようになっている。受注者側装置3は受注端末装置6とジャーナルプリンタ7からなり、または受注端末装置6と処理装置8と日本語プリンタ9とからなり、発注端末装置4と受注端末装置6とは、公衆回線等10で結ばれている。

【0007】図2において、発注端末装置4は商品の品名、数量、単位及び発注先等の情報を入力するタッチ式入力部11と、入力した情報の少なくとも一部分を表示するLCD等の表示部12と、入力した情報を記憶する記憶部13と、入力した情報を公衆回線等10を通して受注端末装置6に送信する送信部14とを備えている。タッチ式入力部11のタッチキーは商品キー16と数字ボタン17と単位ボタン18と機能ボタン21

(a, b, c, d)からなり、商品キー16は切り換えることにより、文字入力モード用の文字入力キーと注文モード用の商品名キーとして機能可能であり、文字入力モードにより商品名を追加し、変更できる。商品キー16は基本エリアとオプションエリアである商品設定エリアを有していて、基本エリアは最初から基本商品を登録したものを作成しておく。またオプションエリアは工場出荷状態の初期状態では何も登録されておらず、季節商品等または他店とは異なる商品等の発注商品等を必要時に登録できるようにしてある。基本エリアは最初から基本商品を登録したほうが初期登録の手間が省けて良いが、基本エリアも登録変更可能である。図6に商品名登録の手順を示す流れ図を示す。また、タッチ式入力部11のタッチキーは発注端末装置4の上部に位置すると共にタッチキーの上面にシートを取り外し可能に載置し、シートの上面からタッチキーに対するタッチ操作が可能である。更に、発注端末装置4の上部に前記シートを位置決めする位置決め用の段差を設けてある。送信部14は商品の品名、数量、単位の3信号を入力した場合にのみ入力された情報を送信可能とするAND回路15を有

している。

【0008】AND回路15は、商品キー16から入力される商品名に関する信号Aと数字ボタン17から入力される数量に関する信号Bと単位ボタン18から入力される単位に関する信号Cの3入力信号を入力信号として、送信ゲートを開く出力信号Dを発生する。

【0009】図3において、受注端末装置6は全自動受信回路で構成されている。

【0010】このように構成された受発注管理システム1において、発注者側装置2では、発注端末装置4により、商品キー16に表示された任意の商品を選んで、その商品キー16から入力し、数字ボタン17で希望数量を押して入力し、単位ボタン18で希望単位を押して入力する。次の商品の発注については、以上の操作を順次繰り返していく。これらの発注内容は全て表示部12にモニタ表示される。

【0011】このようにして希望注文商品等を全て入力し終わったら、AND回路15から送信ゲートを開く出力信号Dが出力されているので、次に機能ボタン21の中の送信ボタンaを押し、数字ボタン17の数字1のボタンを押し、数字ボタン17の実行ボタン22を押す。実行ボタン22を押す毎に入力された商品名、数量及び単位が順次表示部12に表示にされ、送信登録されたことを確認できる。

【0012】表示部12にトウロクスウ＝00000（通信登録商品件数）、ソウシン：ジッコウが表示されたら、もう一度実行ボタン22を押すことにより入力された商品名、数量及び単位が送信される。同時にジャーナルプリンタ5により送信内容が印字出力される。

【0013】一方、受注者側装置3では、複数の発注者側装置2からの注文信号を受注端末装置6で24時間体制で自動受信し、受付順に従って順次受付票を印字出力する。

【0014】また、処理装置8を付加した場合には、受注端末装置6からの注文信号を処理装置8に受けて解析し、日本語プリンタ9により自動的に受注票を印字出力すると共に各顧客の指定する締め日等には各顧客別に請求書を印字出力し、また日計、月計及び年計等の管理帳票を印字出力する。

【0015】

【発明の効果】この発明の受発注管理システムでは、定められた任意の商品の発注・受注に際し、時間的制約を受けずに何時でも商品キー等を数回押すだけで簡単に、しかも確実に注文できると共に、受注者にとっても24時間自動的に受注票付きで受注できることから、受発注

行為における間違い等の低減、または労力・経費の大幅な削減等に寄与する。

【0016】また、発注者側は発注の都度ジャーナルプリンタで注文内容を印字出力することから支払い予定額を随時予定することが可能であり、受注者側は受注証票に基づいて納品するため間違いがない。尚、処理装置を付加することにより、売り上げに関する顧客別の請求書の発行及び日計、月計及び年計等の経営管理帳票の出力も可能となり、大幅な業務軽減が図れる。また商品名、数量及び単位の3信号を入力しないと送信できないので、発注ミスが無くなり、受発注行為が確実である。

【0017】更に、機能ボタン21（a, b, c, d）の活用により、例えばタクシー呼び出し機能、パブ・スナック等からの飲食店への出前要請機能、または警察・消防署等への緊急通報等、その応用範囲は広範囲にわたるものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】受発注管理システムの構成説明図。

【図2】発注端末装置を示す平面図。

【図3】受注端末装置を示す平面図。

【図4】発注品入力操作を示す流れ図。

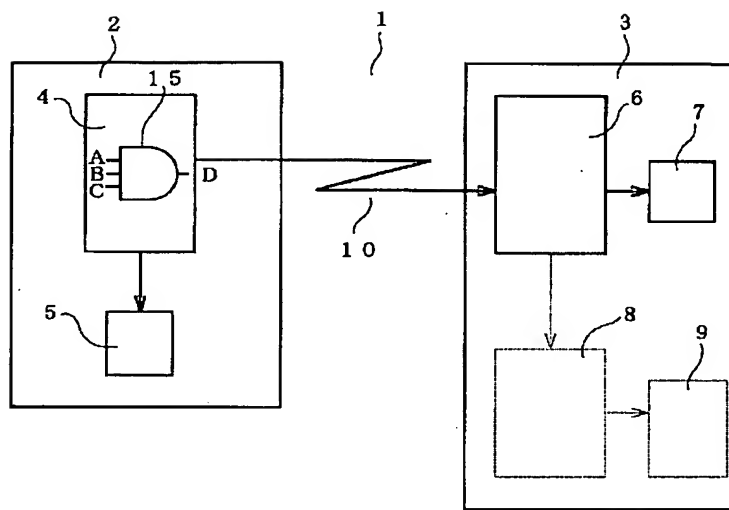
【図5】登録・送信操作を示す流れ図。

【図6】商品名登録の手順を示す流れ図。

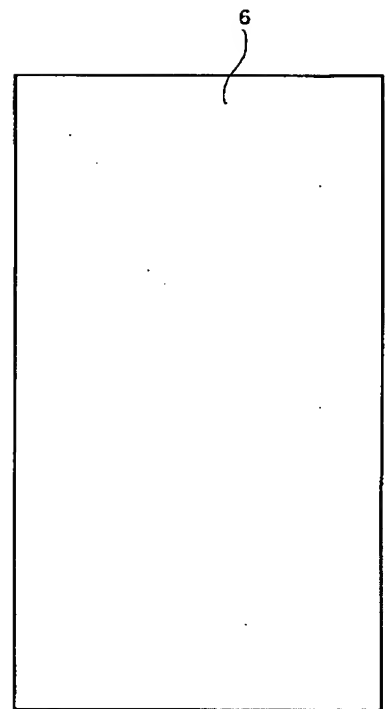
【符号の説明】

- 1 受発注管理システム
- 2 発注者側装置
- 3 受注者側装置
- 4 発注端末装置
- 5 ジャーナルプリンタ
- 6 受注端末装置
- 7 ジャーナルプリンタ
- 8 処理装置
- 9 日本語プリンタ
- 10 公衆回線等
- 11 タッチ式入力部
- 12 表示部
- 13 記憶部
- 14 送信部
- 15 AND回路
- 16 商品キー
- 17 数字ボタン
- 18 単位ボタン
- 21 機能ボタン
- 22 実行ボタン

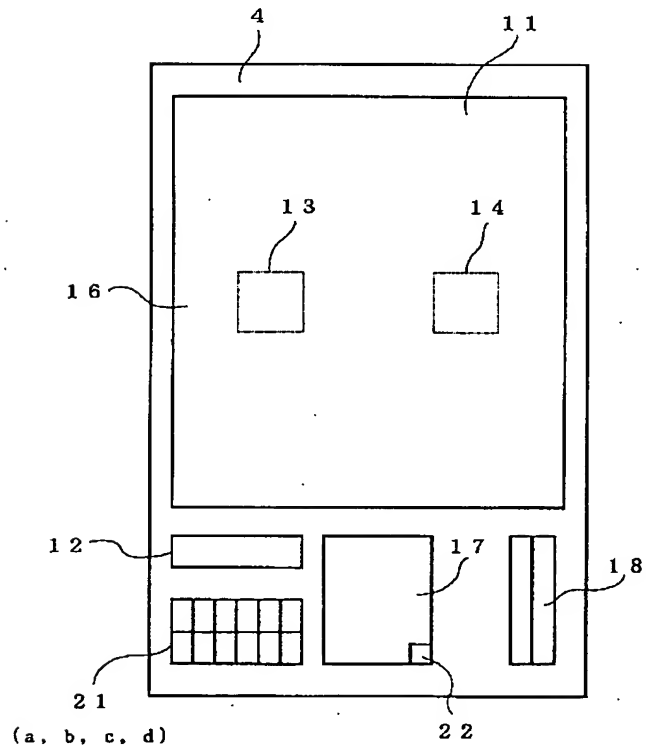
【図1】



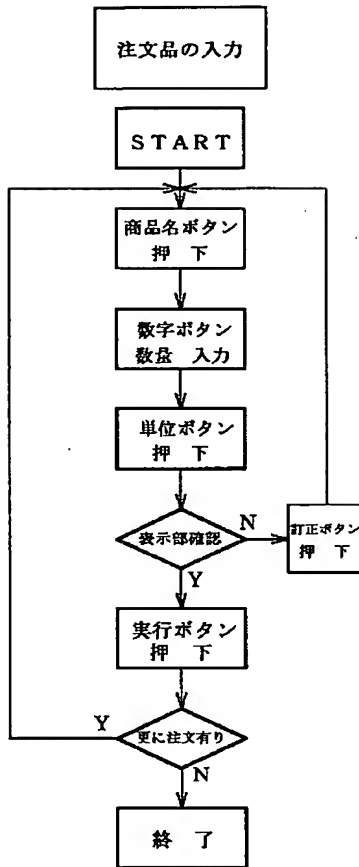
【図3】



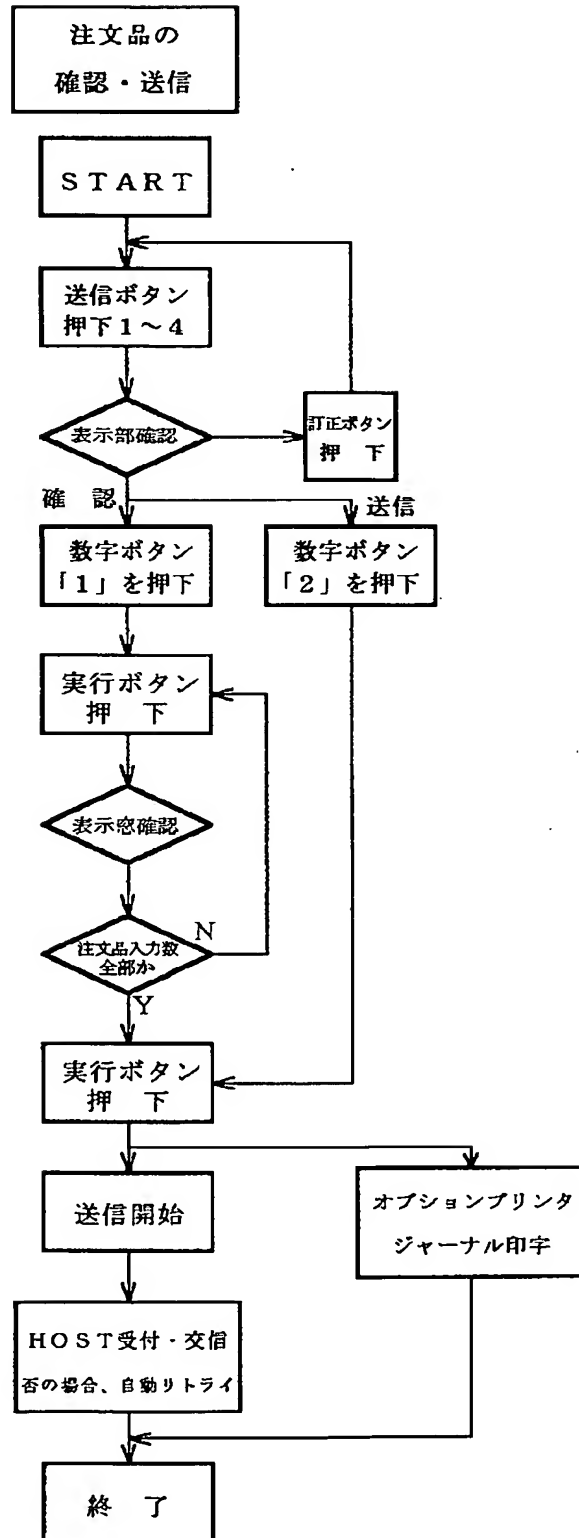
【図2】



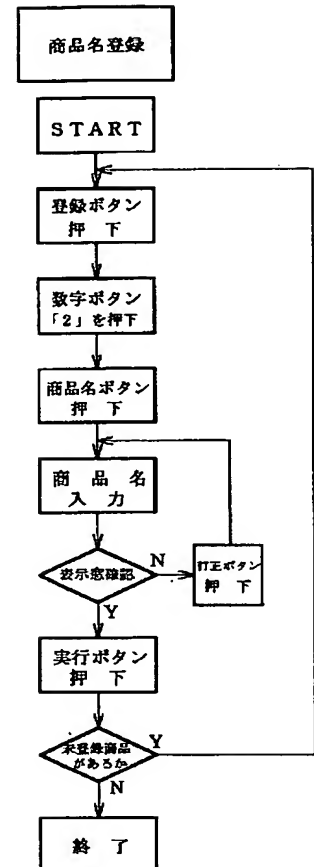
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 荒川 武  
東京都豊島区南大塚一丁目50-10 株式会  
社アーバン・アイ・システムズ内

(72)発明者 佐野 秀夫  
東京都千代田区飯田橋四丁目8番3号 日  
本ベンダーネット株式会社内

(72)発明者 鈴木 俊則  
埼玉県飯能市南町10番13号 新電元工業株  
式会社工場内